



2024年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月15日

上場会社名 ベースフード株式会社 上場取引所 東
コード番号 2936 URL <https://basefood.co.jp/corporate>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 舜
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート部 (氏名) 鈴木 譲 TEL 03 (6416) 8905
定時株主総会開催予定日 2024年5月29日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2024年5月30日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期の業績（2023年3月1日～2024年2月29日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年2月期 | 14,874 | 50.9 | △902 | — | △891 | — | △856 | — |
| 2023年2月期 | 9,857 | 77.8 | △970 | — | △995 | — | △1,008 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年2月期 | △16.83 | — | △69.0 | △25.9 | △6.1 |
| 2023年2月期 | △25.44 | — | △88.4 | △38.3 | △9.9 |

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期 -百万円 2023年2月期 -百万円

(注) 1. 当社は、2022年8月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年2月期 | 3,276 | 842 | 25.7 | 16.21 |
| 2023年2月期 | 3,609 | 1,638 | 45.4 | 33.09 |

(参考) 自己資本 2024年2月期 842百万円 2023年2月期 1,638百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年2月期 | △665 | △229 | 29 | 1,430 |
| 2023年2月期 | △732 | △265 | 2,457 | 2,296 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| 2023年2月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2024年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2025年2月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | |
|----|--------|------|------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 19,066 | 28.2 | 166 | — |

（注）2025年2月期の業績予想については、「売上高」と「営業利益」のみ開示しております。詳細は、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.12「3. 財務諸表及び主な注記（5）財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（2）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年2月期 | 53,292,900株 | 2023年2月期 | 50,869,700株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年2月期 | 1,358,000株 | 2023年2月期 | 1,358,000株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年2月期 | 50,871,608株 | 2023年2月期 | 39,645,057株 |

（注）当社は、2022年8月30日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たって注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2024年4月15日に機関投資家、アナリスト向けの会社説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 貸借対照表 | 6 |
| (2) 損益計算書 | 8 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (会計方針の変更) | 12 |
| (持分法損益等) | 12 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッションを掲げ、「栄養のインフラ」としてのBASE FOODを目指しております。

ミッションの実現に向け、研究開発活動を通じて完全栄養（注1）の主食を中心としたBASE FOODシリーズの開発及び改善を行い、それらを主に3つのチャンネル（卸などを介さず顧客に直接販売を行う「自社EC」、他社ECプラットフォームでの販売を行う「他社EC」、コンビニエンスストアやドラッグストアなどで販売を行う「卸販売」）で販売を行っており、積極的な研究開発活動を通じて美味しい商品の追求、新商品のリリースを行うことで顧客層の拡大、継続率の向上を通じ成長を遂げてまいります。

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも社会経済活動の制限が緩和されるなど景気は回復の兆しがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の問題による原材料の高騰や世界的な金融引き締めによる急激な為替の変動などの影響もあり、依然として経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社は積極的な研究開発活動を継続しており、商品開発の速度向上と研究開発領域の深化を目的に前事業年度強化したR&D体制により、新商品開発及び商品リニューアルを積極的に進めてまいりました。その成果として、2023年5月にはBASE BREAD（ミニ食パン・レーズン）、2023年7月にはBASE BREAD（リッチ）の販売を開始いたしました。商品リニューアルにつきましては、2023年3月にBASE BREAD（メープル、シナモン、プレーン）、2023年9月にBASE BREAD（カレー）のリニューアルを実施し、商品のおいしさ向上を実現いたしました。このような取り組みにより、「かんたん・おいしい・からだにいい」食事のラインナップ及びクオリティを高め、より豊かな食体験の機会を提供することで、「健康をあたりまえに」の実現を加速させるR&D活動を進めております。

また、当社は2023年10月24日に一部商品の自主回収を公表いたしました。これを受けて、製品設計から流通工程のすべてのプロセスにおいて、食の安全安心に向けた取り組みをより強化いたしました。それらの取り組み内容に関して、2024年3月11日より、当社公式ホームページの「食の安全安心への取り組み」に関するページにて公開しております。今後も再発防止に努めるとともに、業界水準を超える品質保証を目指してまいります。

自社ECにおいては、上段で記述した新商品及び商品リニューアルのプロモーション活動を積極的に行った結果、サブスクリプション会員数が伸長し、20.6万人（前事業年度末は16.3万人）に着地いたしました。また、2023年10月の自主回収発表直後に悪化した解約率も回復基調となっております。その結果、自社EC売上高は9,081,202千円になりました。なお、サブスクリプション会員数の推移は以下のとおりとなっております。

| | 2023年2月期 | 2024年2月期 第1四半期 | 2024年2月期 第2四半期 | 2024年2月期 第3四半期 | 2024年2月期 第4四半期 |
|-------------------------|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| サブスクリプション会員数の推移 (万人) | 16.3 | 20.1 | 20.4 | 20.0 | 20.6 |

卸販売においては、特にコンビニエンスストアとドラッグストアの実店舗での展開が順調に推移した結果、展開実店舗数は51,091店舗（前事業年度末は34,795店舗）へと拡大いたしました。一方、全国展開の結果、相対的に店舗あたり売上高の低い地方店舗数が前事業年度より増えていることや自主回収発表以降の一部の店舗での買い控えや受注減により、店舗当たりの売上高は軟調に推移いたしました。その結果、卸販売売上高は4,590,004千円となりました。なお、店舗数の推移は以下のとおりとなっております。

| | 2023年2月期 | 2024年2月期 第1四半期 | 2024年2月期 第2四半期 | 2024年2月期 第3四半期 | 2024年2月期 第4四半期 |
|-------------|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 店舗数の推移 (店舗) | 34,795 | 46,385 | 49,044 | 53,406 | 51,091 |

他社ECにおいては、自主回収により一時的な在庫不足が懸念された商品を他の販売チャンネルに優先して回したことにより、一部商品の販売数量を意図的に抑制いたしました。また同様の理由により、下半期に予定していた大型商戦への参加を見送りました。その結果、他社EC売上高は1,067,979千円になりました。

海外事業においては、前事業年度から販売を開始している香港に加え、2023年5月には中国、2024年1月には台湾及びシンガポールにも新たに進出し、今後の販売体制の土台作りを実現いたしました。香港に関しては、前事業年度から強化していた越境ECプラットフォームでのプロモーションに加え、2023年10月に公式ECサイトを開設し、サブスクリプション販売を開始いたしました。その結果、海外事業全体の売上高は前事業年度対比で約13.5倍に伸長し、134,868千円となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は14,874,087千円（前期比50.9%増）、営業損失は902,889千円（前事業年度の営業損失は970,985千円）、経常損失は891,024千円（前事業年度の経常損失は995,237千円）、当期純損失は856,016千円（前事業年度の当期純損失は1,008,413千円）となりました。

当社の報告セグメントは従来より「完全栄養食事業」の単一セグメントでしたが、当事業年度より報告セグメントに含まれない事業セグメントとして「その他」を追加しております。なお、当社の報告セグメントにおける「完全栄養食事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

注1：1食（BASE PASTAは1袋、BASE BREADは2袋、BASE Cookiesは4袋、BASE FOOD Deliは1袋）で、栄養素等表示基準値に基づき、他の食事で過剰摂取が懸念される脂質・飽和脂肪酸・炭水化物・ナトリウムを除いて、すべての栄養素で1日分の基準値の1/3以上を含む

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における総資産は3,276,764千円となり、前事業年度末に比べ333,012千円減少いたしました。これは主に、事業拡大に伴い売掛金が220,099千円、未収入金が79,586千円増加したことに加え、新規取引先との契約に係る保証金の差入れ等により投資その他の資産が242,668千円増加した一方で、借入金の返済等により現金及び預金が865,679千円減少したことによるものであります。

（負債）

当事業年度末における負債は2,434,302千円となり、前事業年度末に比べ463,348千円増加いたしました。これは主に、事業拡大に伴い未払金が271,633千円、買掛金が99,974千円増加したことに加え、新たなポイントバックプランの提供開始に伴い契約負債が91,618千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当事業年度末における純資産は842,462千円となり、前事業年度末に比べ796,360千円減少いたしました。これは、新株予約権の行使により資本金が29,945千円、資本準備金が29,710千円増加した一方で、当期純損失の計上により利益剰余金が856,016千円減少したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,430,928千円となり、前事業年度末に比べ865,679千円減少いたしました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は665,900千円（前事業年度は732,916千円の使用）となりました。主な増加要因は、事業拡大に伴い未払金が263,238千円、仕入債務が99,974千円増加したことによるものであります。主な減少要因は、事業拡大に伴う売上債権の増加額220,099千円、オンライン広告等のプロモーション活動を積極的に行ったこと及び事業拡大を目的とした人員採用等による税引前当期純損失の計上894,279千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は229,435千円（前事業年度は265,404千円の使用）となりました。これは主に、自社倉庫の拡大に伴う敷金等の差入保証金の差入による支出169,099千円及び有形固定資産の取得による支出68,443千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は29,656千円（前事業年度は2,457,923千円の獲得）となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入59,656千円及び長期借入金の返済による支出30,000千円によるものであります。

（4）今後の見通し

新型コロナウイルスの蔓延以降、健康に対する関心が高まっていることに加えて、現代の食生活におけるニーズは、健康志向、経済性志向、簡便化志向の傾向が顕著です（注2）。このような環境の下、当社は「かんたん・おいしい・からだにいい」のすべてを叶える主食サービスを実現するべく、2025年2月期も引き続き競争力の源泉となる研究開発に投資してまいります。

つきましては、兼ねてからラインナップ拡大に努めてまいりました「BASE BREAD」シリーズの新商品及びリニューアルはもちろんのこと、2023年2月期より新たに展開した中食分野である「BASE FOOD Deli」カテゴリの強化や、その他新形態の商品等のリリースを見込んでおります。実際に、2024年3月には冷凍パスタ2種類、2024年4月にはカップ焼きそばを新たに販売開始いたしました。これらの新商品をプロモーションの柱に、自社ECサブスクリプション会員の拡大を目指すと共に、小売店での売場面積を拡大させることで、店舗あたり売上高の成長も目指してまいります。

加えて、上場以来、方針として掲げてきたとおり、2025年2月期は通期で営業利益の黒字化を目指してまいります。同時に、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッション達成のため、財務健全性を維持しながら事業投資を継続し、売上成長も目指してまいります。

上記の考え方にに基づき、2025年2月期の売上高は19,066百万円（前期比28.2%増）、営業利益は166百万円（前事業年度は営業損失902百万円）を見込んでおります。

なお、業績予想は、本資料の発表日までにおいて当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているもので、実際の業績等は、様々な要因により変動する可能性があります。

注2：日本政策金融公庫「消費者動向調査（令和4年7月）」P3より。（全国の20歳代～70歳代の男女各1,000人を対象。「現在の食に関する志向について特に強いものをお選びください」という質問に対し、上位2つまで複数回答可）

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は重要な子会社が存在しないため連結財務諸表を作成しておらず、また日本基準及び国際会計基準による並行開示の負担等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2023年2月28日) | 当事業年度 (2024年2月29日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,296,608 | 1,430,928 |
| 売掛金 | 561,749 | 781,849 |
| 商品 | 122,933 | 175,050 |
| 原材料及び貯蔵品 | 91,043 | 20,102 |
| 未収入金 | 96,273 | 175,859 |
| 前払費用 | 58,667 | 68,746 |
| その他 | 66,040 | 18,835 |
| 流動資産合計 | 3,293,315 | 2,671,371 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 69,232 | 104,243 |
| 減価償却累計額 | △11,529 | △28,849 |
| 建物（純額） | 57,703 | 75,393 |
| 機械及び装置 | 10,254 | 26,330 |
| 減価償却累計額 | △1,752 | △3,077 |
| 機械及び装置（純額） | 8,501 | 23,252 |
| 工具、器具及び備品 | 17,558 | 26,328 |
| 減価償却累計額 | △4,630 | △10,952 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 12,928 | 15,375 |
| リース資産 | — | 8,587 |
| 減価償却累計額 | — | △357 |
| リース資産（純額） | — | 8,229 |
| 有形固定資産合計 | 79,134 | 122,252 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 177 | 3,073 |
| 特許権 | 1,093 | 1,341 |
| 無形固定資産合計 | 1,270 | 4,414 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 3,085 | 44,632 |
| 差入保証金 | 232,972 | 390,567 |
| 繰延税金資産 | — | 43,525 |
| 投資その他の資産合計 | 236,057 | 478,726 |
| 固定資産合計 | 316,462 | 605,392 |
| 資産合計 | 3,609,777 | 3,276,764 |

（単位：千円）

| | 前事業年度 (2023年2月28日) | 当事業年度 (2024年2月29日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 456,882 | 556,857 |
| 短期借入金 | 500,000 | 500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 30,000 | — |
| 未払金 | 557,780 | 829,413 |
| 未払費用 | 137,505 | 121,437 |
| 未払法人税等 | 22,040 | 16,694 |
| 預り金 | 37,109 | 50,589 |
| ポイント引当金 | 11,957 | 13,519 |
| 契約負債 | 192,856 | 284,474 |
| その他 | 1,000 | 30,520 |
| 流動負債合計 | 1,947,131 | 2,403,506 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 23,822 | 23,890 |
| その他 | — | 6,905 |
| 固定負債合計 | 23,822 | 30,795 |
| 負債合計 | 1,970,954 | 2,434,302 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,102,100 | 1,132,046 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 1,512,806 | 1,542,516 |
| その他資本剰余金 | 527,605 | 527,605 |
| 資本剰余金合計 | 2,040,412 | 2,070,122 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | △1,476,505 | △2,332,522 |
| 利益剰余金合計 | △1,476,505 | △2,332,522 |
| 自己株式 | △27,567 | △27,567 |
| 株主資本合計 | 1,638,439 | 842,079 |
| 新株予約権 | 382 | 382 |
| 純資産合計 | 1,638,822 | 842,462 |
| 負債純資産合計 | 3,609,777 | 3,276,764 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日) | 当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 9,857,651 | 14,874,087 |
| 売上原価 | 4,591,558 | 7,476,255 |
| 売上総利益 | 5,266,093 | 7,397,831 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,237,079 | 8,300,721 |
| 営業損失(△) | △970,985 | △902,889 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16 | 26 |
| 受取補填金 | 19,571 | 54,527 |
| その他 | 255 | 3,364 |
| 営業外収益合計 | 19,843 | 57,918 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,487 | 5,840 |
| 株式交付費 | 16,277 | — |
| 支払保証料 | 3,159 | 1,139 |
| 上場関連費用 | 17,337 | — |
| リコール関連費用 | — | 37,373 |
| その他 | 833 | 1,699 |
| 営業外費用合計 | 44,095 | 46,053 |
| 経常損失(△) | △995,237 | △891,024 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7,489 | 3,255 |
| 特別損失合計 | 7,489 | 3,255 |
| 税引前当期純損失(△) | △1,002,726 | △894,279 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,687 | 5,263 |
| 法人税等調整額 | — | △43,525 |
| 法人税等合計 | 5,687 | △38,262 |
| 当期純損失(△) | △1,008,413 | △856,016 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位: 千円)

| | 株主資本 | | | | | | | 自己株式 | 株主資本合計 |
|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|---------------------|------------|---------|------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 510,705 | 527,605 | 1,038,311 | △468,092 | △468,092 | △27,567 | 642,651 | |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 1,002,100 | 1,002,100 | | 1,002,100 | | | | 2,004,201 | |
| 当期純損失 (△) | | | | | △1,008,413 | △1,008,413 | | △1,008,413 | |
| 当期変動額合計 | 1,002,100 | 1,002,100 | — | 1,002,100 | △1,008,413 | △1,008,413 | — | 995,787 | |
| 当期末残高 | 1,102,100 | 1,512,806 | 527,605 | 2,040,412 | △1,476,505 | △1,476,505 | △27,567 | 1,638,439 | |

| | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-----------|-------|------------|
| 当期首残高 | 382 | 643,034 |
| 当期変動額 | | |
| 新株の発行 | | 2,004,201 |
| 当期純損失 (△) | | △1,008,413 |
| 当期変動額合計 | — | 995,787 |
| 当期末残高 | 382 | 1,638,822 |

当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位: 千円)

| | 株主資本 | | | | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|----------|-----------|---------------------|------------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 1,102,100 | 1,512,806 | 527,605 | 2,040,412 | △1,476,505 | △1,476,505 | △27,567 | 1,638,439 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | 29,945 | 29,710 | | 29,710 | | | | 59,656 |
| 当期純損失 (△) | | | | | △856,016 | △856,016 | | △856,016 |
| 当期変動額合計 | 29,945 | 29,710 | — | 29,710 | △856,016 | △856,016 | — | △796,360 |
| 当期末残高 | 1,132,046 | 1,542,516 | 527,605 | 2,070,122 | △2,332,522 | △2,332,522 | △27,567 | 842,079 |

| | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|-------|-----------|
| 当期首残高 | 382 | 1,638,822 |
| 当期変動額 | | |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | | 59,656 |
| 当期純損失 (△) | | △856,016 |
| 当期変動額合計 | — | △796,360 |
| 当期末残高 | 382 | 842,462 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日) | 当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純損失 (△) | △1,002,726 | △894,279 |
| 減価償却費 | 16,842 | 34,544 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △5,000 | — |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 11,601 | 1,562 |
| 受取利息 | △16 | △26 |
| 支払利息 | 6,487 | 5,840 |
| 株式交付費 | 16,277 | — |
| 固定資産除却損 | 7,489 | 3,255 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △219,649 | △220,099 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △24,959 | 18,824 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 164,257 | 99,974 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 80,539 | 263,238 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 45,829 | △16,068 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 192,856 | 91,618 |
| その他 | △14,169 | △26,411 |
| 小計 | △724,339 | △638,027 |
| 利息の受取額 | 16 | 26 |
| 利息の支払額 | △6,507 | △5,861 |
| 法人税等の支払額 | △2,085 | △22,037 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △732,916 | △665,900 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △67,060 | △68,443 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,208 | △3,397 |
| 差入保証金の差入による支出 | △211,515 | △169,099 |
| 差入保証金の回収による収入 | 14,380 | 11,503 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △265,404 | △229,435 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 470,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △30,000 |
| 株式の発行による収入 | 1,987,923 | — |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | — | 59,656 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,457,923 | 29,656 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,459,603 | △865,679 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 837,005 | 2,296,608 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,296,608 | 1,430,928 |

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、財務諸表に与える影響はありません。

（持分法損益等）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主として完全栄養食事業を展開しており、事業の形態を基に「完全栄養食事業」を単一の報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは従来より「完全栄養食事業」の単一セグメントでしたが、当事業年度より、報告セグメントに含まれない事業セグメントとして「その他」を追加しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高はありません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

当社は、完全栄養食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注3) | 財務諸表 計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------|
| | 完全栄養食事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,874,054 | 33 | 14,874,087 | — | 14,874,087 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 14,874,054 | 33 | 14,874,087 | — | 14,874,087 |
| セグメント損失 (△) | △812,421 | △5 | △812,427 | △90,461 | △902,889 |

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント損失 (△) は、財務諸表の営業損失と一致しております。
 3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。
 4. セグメント資産の金額は、事業セグメントに配分を行っていないため、開示しておりません。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日) | 当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日) |
|---------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 33.09円 | 16.21円 |
| 1株当たり当期純損失(△) | △25.44円 | △16.83円 |

- (注) 1. 当社は、2022年8月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純損失を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。
3. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日) | 当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日) |
|---|---|---|
| 当期純損失(△) (千円) | △1,008,413 | △856,016 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純損失(△) (千円) | △1,008,413 | △856,016 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 39,645,057 | 50,871,608 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 新株予約権9種 新株予約権の数37,550個 普通株式4,853,900株 | 新株予約権8種 新株予約権の数21,310個 普通株式2,430,700株 |

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (2023年2月28日) | 当事業年度 (2024年2月29日) |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 1,638,822 | 842,462 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | 382 | 382 |
| (うち新株予約権) (千円) | (382) | (382) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 1,638,439 | 842,079 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 49,511,700 | 51,934,900 |

（重要な後発事象）

（資金の借入）

当社は、株式会社三菱UFJ銀行との当座貸越契約に基づき、以下のとおり、資金の借入を行うことを決定いたしました。

資金の借入の概要

| | |
|-------|----------------|
| 借入先 | 株式会社三菱UFJ銀行 |
| 借入額 | 1,000百万円 |
| 借入金利 | 基準金利＋スプレッド |
| 借入実行日 | 2024年4月30日（予定） |
| 返済期日 | 2024年8月31日（予定） |
| 返済方法 | 期日一括 |
| 担保の状況 | 無担保・無保証 |
| 資金使途 | 運転資金 |